

様式③

令和元年11月21日

現場説明の質問に対する回答書

入札参加者 様

環境創造局下水道設備課長

松本 信幸

工事名	栄第一水再生センター第1系列(2/2)反応タンク設備工事				
調達公告日	11月5日	調達公告番号	第152号	契約番号	1921010445

現場説明に対する質問及び回答は次のとおりです。

質問要旨	回答
1. 仮設止水板にて止水を行う際、止水の期間に指定はございますか。また、止水方法に何か指定はございますか(別途排水ポンプが必要、ゴムシートやコーキングによる止水が必要等)	1. 止水の期間は、令和2年4月頃～令和3年2月頃を想定しています。止水方法は、特記仕様書及び図面に示すとおりですが、詳細は契約後に協議します。
2. 土工(p.6 第13条)埋設部施工に伴う舗装撤去～路盤整備工事において制限事項はございますか。(施工期間、通路(道路、搬入路)の高さ及び巾、重機重量等)	2. 可能な限り維持管理動線を確保したうえ、短期間で施工することとし、詳細は契約後に協議します。通路制限は、高さ：約3m(上部に配管が敷設されている箇所あり)、巾：約6m、重機重量：約10t(過去最大通過車両重量)です。
3. 撤去を行う铸铁製角形可動堰の呑口閉塞範囲をご教示願います。	3. 別途土木工事の施工範囲です。
4. 仮設脱離液配管の敷設および埋設配管の撤去の時期について、期間の指定はございますか。	4. 着工後、早期の施工を想定しています。

<p>5. No. 01 及び No. 02 反応タンクゲートの呑口について〔図面 5/43〕 呑口部の施工（躯体改造）は、本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>5. 別途土木工事の施工範囲です。</p>
<p>6. No. 11-2、No. 12-1 及び No. 12-2 投入可動堰の呑口について〔図面 6/43〕 呑口部の施工（躯体改造）は、本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>6. 別途土木工事の施工範囲です。</p>
<p>7. No. 01 及び No. 02 反応タンクゲートの搬入口について〔図面 7/43〕 ゲート搬入用の床開口施工（躯体改造）は、本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>7. 別途土木工事の施工範囲です。</p>
<p>8. No. 11-2 投入可動堰据付部の既設蓋について〔図面 7/43〕 既設蓋の材質をご教示ください。</p>	<p>8. FRP 製です。</p>
<p>9. 仮設分離液管の排出部について〔図面 23/43、43/43〕 仮設分離液管の排出部となる終沈スカムピット上部蓋の材質をご教示ください。</p>	<p>9. FFU 製です。</p>
<p>10. 消泡ノズルの口径について〔図面 25/43〕 アイソメ図（2）の消泡水管（1）及び（2）に消泡ノズル 15A との記載がありますが、一般仕様書 2-5-1 頁では消泡ノズル取付け口径が PT3/4 又は PT3/8 となっています。取付け口径 PT3/4（20A）を採用してもよろしいで</p>	<p>10. 一般仕様書に合わせ、PT3/4 とします。</p>

<p>しょうか。</p> <p>11. 鋳鉄製角形可動堰撤去後の呑口について〔図面 31/43、32/43〕 可動堰撤去後の呑口部の躯体改造（開口塞ぎ）は、本工事の範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>12. No. 01 反応タンクゲートと No. 11-2 投入可動堰の施工期間について〔図面 5/43、6/43、特記仕様書 29 頁〕 No. 01 反応タンクゲートと No. 11-2 投入可動堰は No. 11 反応タンク設備の施工となりますが、予定されている施工期間を教えてください。</p> <p>13. 土木工事（別途工事）の施工期間について〔特記仕様書 29 頁〕 本工事の期間中に反応タンク内の土木躯体改造及び防食施工を予定されているとのことですが、当該土木工事の予定期間を教えてください。</p> <p>14. 防食補修について〔特記仕様書 29 頁〕 機器類の据付により、土木工事で施工した防食の補修が必要になる箇所はありますか。</p> <p>15. 汚泥調整タンク分離液管の施工期間について〔特記仕様書 29 頁〕 予定されている施工期間を教えてください。</p>	<p>11. 別途土木工事の施工範囲です。</p> <p>12. 土木工事契約後に決定します。</p> <p>13. 令和 2 年 5 月頃～令和 2 年 11 月頃を想定していますが、詳細は土木工事契約後に決定します。</p> <p>14. 本工事で想定していません。工程により必要が生じた場合は別途協議とします。</p> <p>15. 回答 4. を踏まえ、早期の施工を想定しています。</p>
--	---

<p>16. メンブレンパネル式散気装置の必要酸素量 (AOR) について〔特記仕様書 2 頁〕 メンブレンパネル式散気装置(1)、およびメンブレンパネル式散気装置(2)の必要酸素量 (AOR) を算出された際の設定水温を、それぞれ教えてください。</p> <p>17. 鋳鉄管材料について〔図面 24/43、42/43、43/43〕 メカニカル直管の内面は、更新用の鋳鉄管材料がエポキシ樹脂粉体塗装、撤去する鋳鉄管材料がモルタルライニングと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>18. 特記仕様書 P29 (施工条件の明示内容) 本工事の施工について、他関連工事に先行して撤去・据付工事等を実施する必要はございますか。 必要な場合、想定されている時期、及び範囲についてご教示ください。</p> <p>19. 本工事を施工するにあたり、施工時期・工程等に制約事項はございますか。</p> <p>20. その他未契約工事が 3 件と記載がありますが、3 件の内容、工期及び施工時期についてご教示下さい。</p>	<p>16. いずれも 25℃です。</p> <p>17. 更新用の仕様は、一般仕様書のとおりです。撤去材の内面仕様は不明です。</p> <p>18. 別途発注予定の土木工事に伴う防食施工等について、先行して撤去作業を行う必要があります。時期については、令和 2 年 4 月早々の着工を想定しています。</p> <p>19. 施工条件の明示のとおりです。また、施工時間は平日の 8 時 30 分から 17 時 00 分とします。上記以外の時間帯や、祝日には機械警備システムが作動中であり、施工は基本的にはできません。</p> <p>20. 別途工事は以下を予定しています。なお、施工時期については、契約後の調整とします。 ・沈殿池等設備工事 内容：第 1 系列沈殿池、汚泥ポンプ等機械設備工事 工期：令和元年 12 月～令和 3 年 3 月</p>
--	--

<p>21. 図面 19/43 に仮設止水板の設置図がありますが止水板を設置した場合、No.13 反応タンク内のドライ化が可能と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>22. 仕様書 P-29 関連工事に反応タンクの土木工事がありますが想定工事期間をご教示ください。</p> <p>23. 仕様書 P-29 関連工事反応タンク内の土木工事内容についてですが図面 5/43 No.11 反応タンク内のNo.01 反応タンクゲートの開口等についても施工していただけたらと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>24. 仕様書 P-29 関連工事反応タンク内の土木工事内容についてですが図面 5/43、7/43 No.13 反応タンク内の土木工事（ゲートの開口、床貫通、配管貫通部）については施工していただけたらと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>25. 図面 7/43 No.11-2 投入可動堰の開口はすでに開いていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事 内容：第1系列水処理等電気設備工事 工期：令和2年2月～令和3年3月 ・土木工事 内容：第1系列沈殿池防食、反応タンク防食・躯体改造 工期：令和2年4月～令和3年3月 <p>21. 仮設止水板及びセンターに保管の角落しを初沈流水路に設置することで、可能となります。</p> <p>22. 回答 20. のとおりです。</p> <p>23. 別途土木工事の施工範囲です。</p> <p>24. 別途土木工事の施工範囲です。</p> <p>25. 別途土木工事の施工範囲です。</p>
--	---

<p>26. 図面 7/43 No.11 反応タンク内にゲート・可動堰、蓋の工事がありますが機器の撤去工事がないたため、清掃等については土木工事にて対応していただけたらと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>26. そのとおり想定していますが、詳細は契約後に協議します。</p>
<p>27. 初沈流出水路の水位をご教示ください。</p>	<p>27. 日最大汚水量時において、約+14.5mです。</p>
<p>28. 仕様書 P-2 の必要酸素供給量算出ため水温をご教示ください。</p>	<p>28. 回答 16. のとおりです。</p>